



2021年11月1日

マツダ、「国際福祉機器展 H.C.R.2021」に MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle を出品 —手動運転とペダルによる運転を選択できる、自由な移動をサポートする新たな選択肢—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、11月10日(水)から12日(金)に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される、世界の介護・福祉機器を一同に集めた国際展示会「第48回 国際福祉機器展 H.C.R.2021」(主催:全国社会福祉協議会、保険福祉広報協会)に、発売予定の手動運転装置付き「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle(セルフ エンパワーメント ドライビング ビークル)(SeDV)(エス イー ディー ヴィ)」(以下、MX-30 SeDV)など、2台の車両を出品します。



「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle(SeDV)」

今回は、「MAZDA MX-30 SeDV」と「MAZDA ROADSTER SeDV」のほか、「MX-30 SeDV」で新たに採用した運転システムをご体験いただけるドライビングシミュレーターを出品します。

初出品の、MX-30 SeDV は、誰もが自分の意志で移動したり、行動したりすることをサポートする選択肢の一つとしてご提案する、手動運転装置付車です。MX-30 のコンセプト「わたしらしく生きる」をもとに、お客さまの夢を応援し、より豊かな人生を過ごしていただくことを目指して開発しました。

運転システムは、手で加減速を行うリング式アクセルとハンドブレーキを搭載。手での運転操作と、従来の足での操作の選択が簡単に行え、足が不自由な方も、友人やご家族と運転を交代しながらドライブをお楽しみいただけます。また、車いすをご利用の方の運転席への乗り移りをスムーズにする「移乗ボード」をご用意しています。

マツダは、クルマ本来の魅力である「走る歓び」によって、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、人の心を元気にすることにより、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

■「第 48 回 国際福祉機器展 H.C.R.2021」マツダ出展内容

- ① 「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle (SeDV)」(市販予定車)
リング式アクセル、ハンドブレーキ、乗降用補助シートなどを装備した車両です。
- ② 「MAZDA ROADSTER Self-empowerment Driving Vehicle (SeDV)」(市販車)
コントロールグリップ、ステアリングノブと乗降用補助シートなどを装備した車両です。
- ③ 「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle (SeDV)」Driving simulator (ドライビング シミュレーター)*1
Driving simulator では、新たに採用した運転システムによる操作感をご体験いただけます。
両手でハンドルを握って加速する新しい爽快感を感じて頂けるよう、MX-30 のコックピットに 4K 映像の美しい体験コースをご用意いたしました。実車と合わせてご覧いただくことでより一層商品を知っていただけることと思います。

■「第 48 回 国際福祉機器展 H.C.R.2021」の公式ウェブサイト

<https://hcr.or.jp/>

以 上

*1 株式会社マツダ E&T にて開発